会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和2年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」（２）教職員の資質能力向上の推進①効果的な教育成果①効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第3回実態調査WG |
| 開催日時 | 令和2年11月4日（水）　16時00分～18時00分 |
| 場所 | 学校法人京都中央学院 |
| 出席者 | 事業責任者：高岡 信吾 委　　　員：成底　敏、岡村　慎一、五十部　昌克、氏部　正、松田　義弘、　　　　　　小田　政江、山根　大助、猪俣　昇（オンライン参加）　　　　　　　　　　　計 9名オブザーバー：泉田　優（オンライン参加）　　　　　　　　　計 1名請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計 1名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 合計11名 |
| 議題等 | 1. 第1回調査分析結果の共有

・分析結果の説明・コアになる書類作成者、確認者に注目してみると、法人本部の有無で傾向が変わる。・全体的に学校運営責任者対象が多く担っている。・アンケートでは読み取れない部分もあるので、ヒアリングで確認。1. 視察調査項目検討

・ヒアリング対象は、岡山情報ビジネス、富山情報ビジネス、アレック情報ビジネス学院、穴吹学園、YICグループ。・煩雑な書類作成を分かりやすく合理化し担当者の負荷を減らし、そこで出た余力をコンピテンシーにつなげたい。・まずは作成レベルを引き上げるためにデータの因果関係の一覧を作成。・合理化、効率化した作成方法・データをもとに各省庁に書類の簡素化等を提言し、情報公開がしやすい状況にする。・育成する人材像は、書類の成り立ち、制度を理解して書類を作成することができ、学校運営の仕組みを理解した上で、魅力的な情報発信をする力を持つ人。・ターゲット書類は12、23。＜質問事項まとめ＞・書類作成に「必要な知識」「必要な情報（資料）」・外部と内部のデータの収集方法。・作成のスキルはどのように身につけたのか。（業務経験など）・作成する際、データの因果関係、学校経営・広報的なことを考慮し工夫しているか。・公開している情報を使って、どのような説明責任を果たしているか。3. 視察調査対象および日程・11月26日（木）10:00～12:00＠専門学校岡山情報ビジネス学院　担当：成底、八木・11月26日（木）15:00～17:00　＠穴吹デザイン専門学校　担当：成底、八木、松田・11月27日（金）10:00～12:00　＠京都　YICグループ　担当：成底、八木、山根・12月7日 （月）10:00～12:00　アレック情報ビジネス学院　担当：成底、山根、高岡、飯塚・12月10日（木）9:30～11:30　＠富山情報ビジネス専門学校担当：八木、五十部、猪俣、小田、高岡、飯塚4. スケジュール・第4回実態調査WG　12月15日（火）　13時00分～15時00分　＠岡山 |
| 配布資料 | ・視察調査日程調整・ |

以上